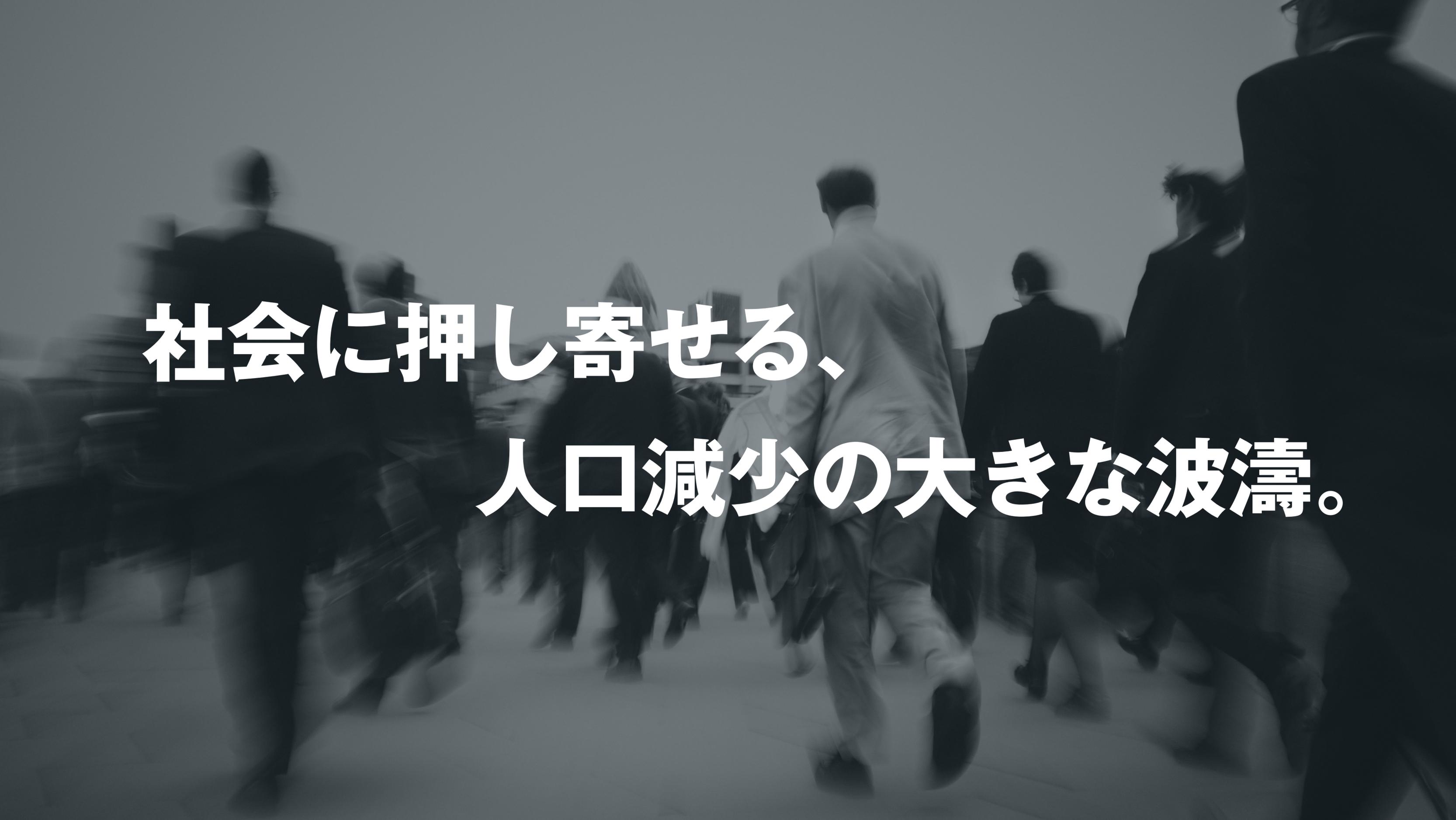


過疎地だから
できる！
未来の課題解決
への**挑戦**





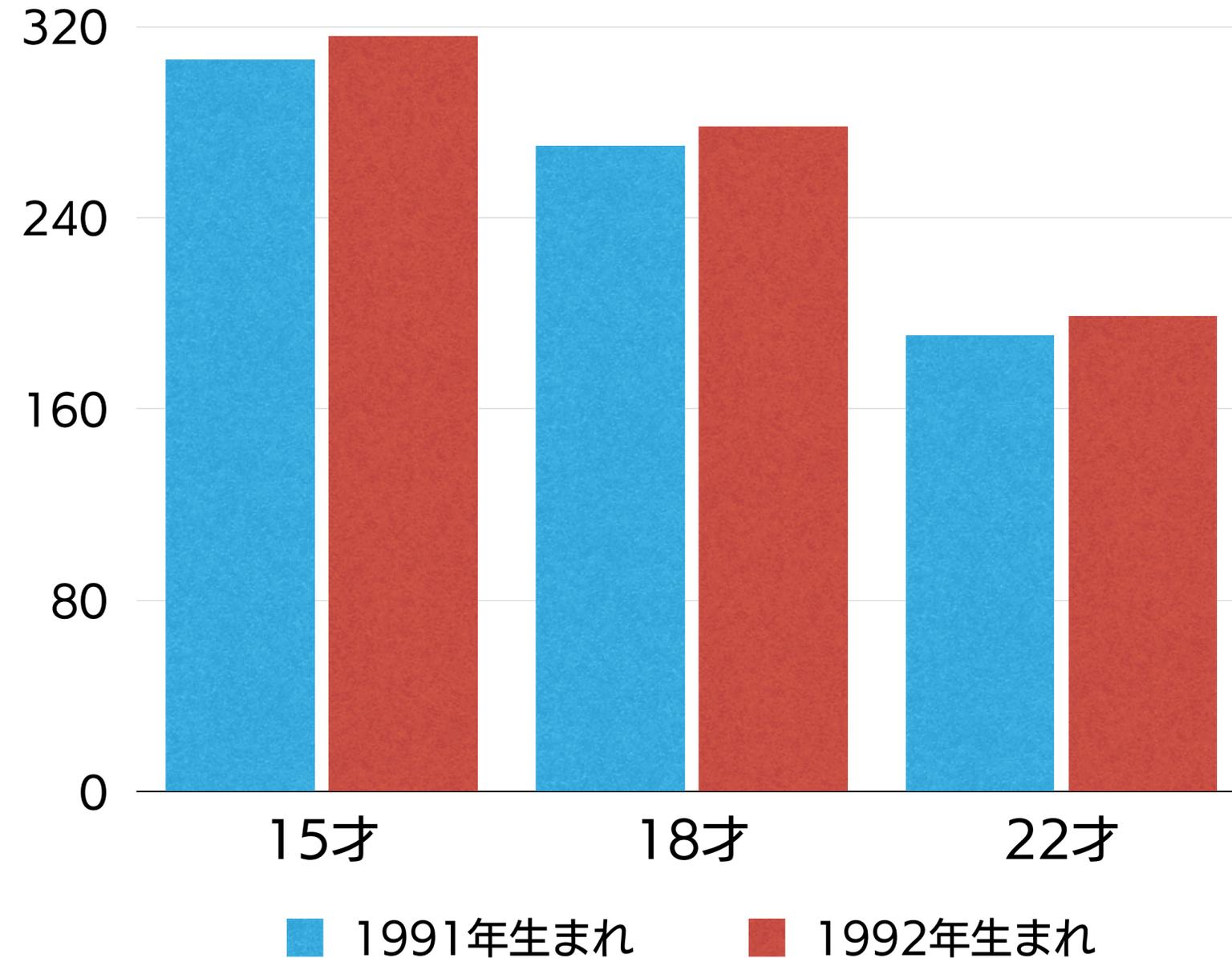
**社会に押し寄せる、
人口減少の大きな波濤。**



起業志民Project

Free ways of working!

八幡平市内で生まれた各世代の人口推移



生まれ育った まちを 離れる。

18才で約1割が転出

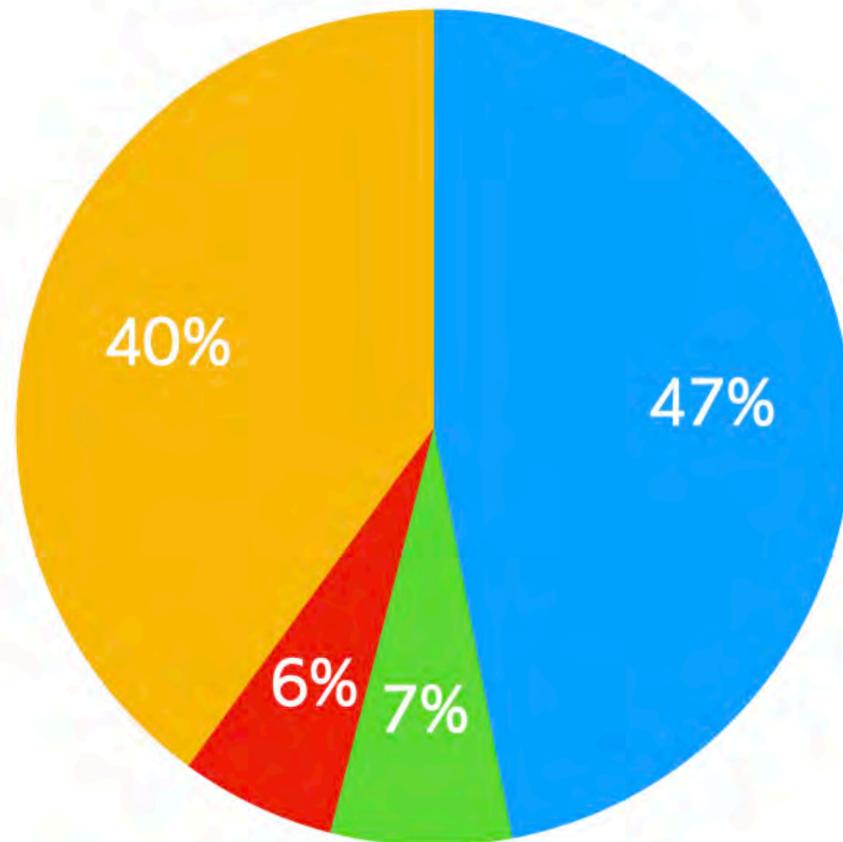
市内で生まれても、18才になると1割が減少。

22才でさらに2割が市外へ

出生から22年で3割が減少する。

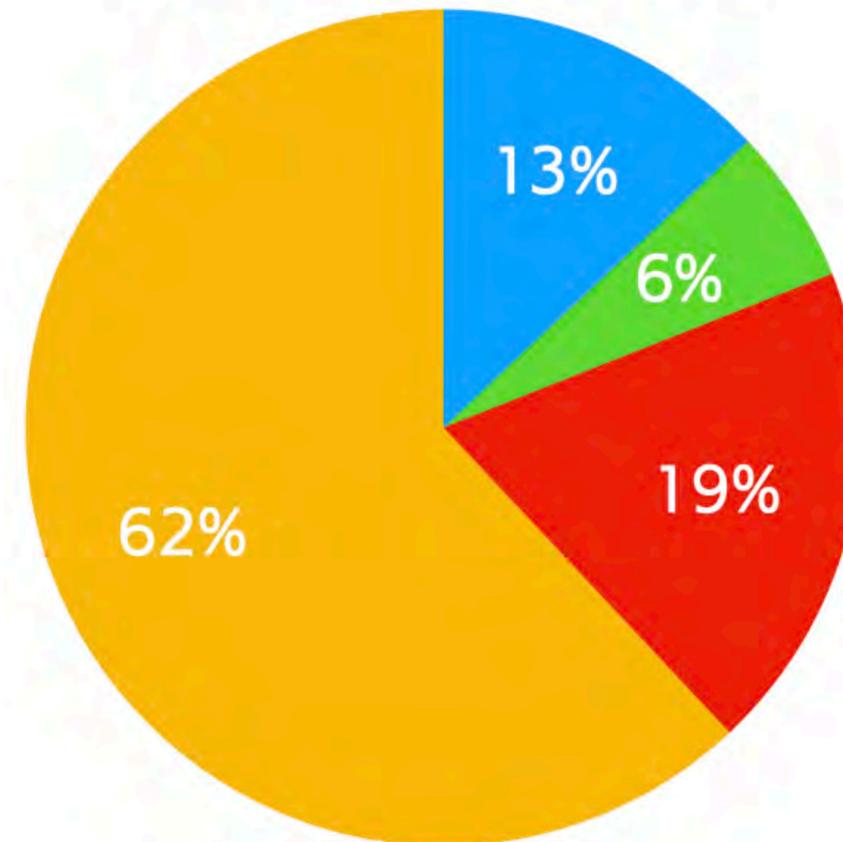
若者たちはどこへ行くのか。

県内への就職先



● 公務員・教員 ● 小売
● 情報通信 ● その他

都内への就職先



● 公務員・教員 ● 小売
● 情報通信 ● その他

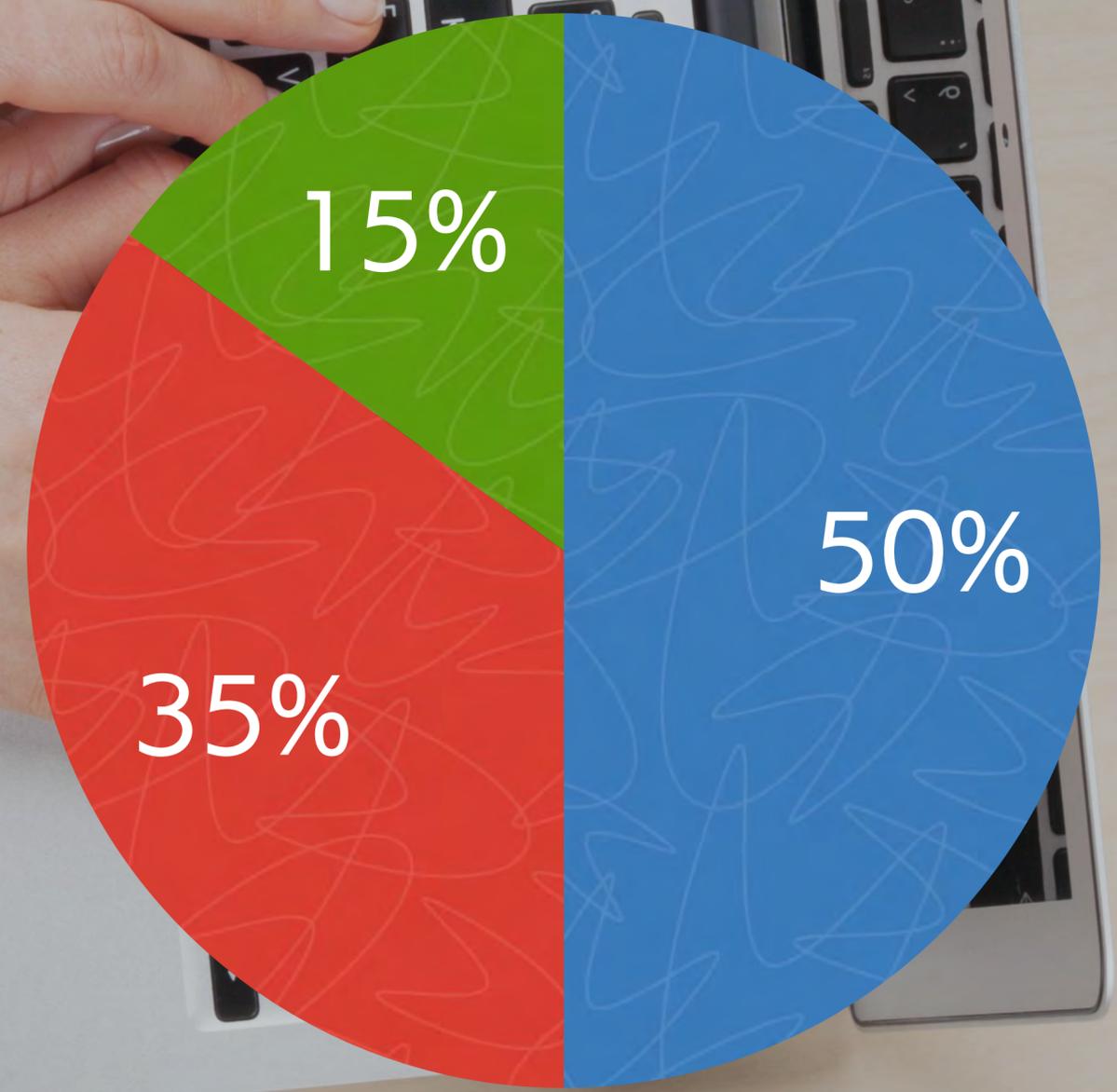
市へ戻らない理由

やりたい 職がないことが 最大の理由。

50%

筋道を立てて、ファクトを導く。

ここまで深掘りすることで「人は望む職を求めて移動している」一つの仮説が立つ。この対策は、望む職すなわち<情報通信業>を創出すること。



- 希望する職がない
- すでに生活の基盤がある
- その他

issue : 情報通信業が足りない



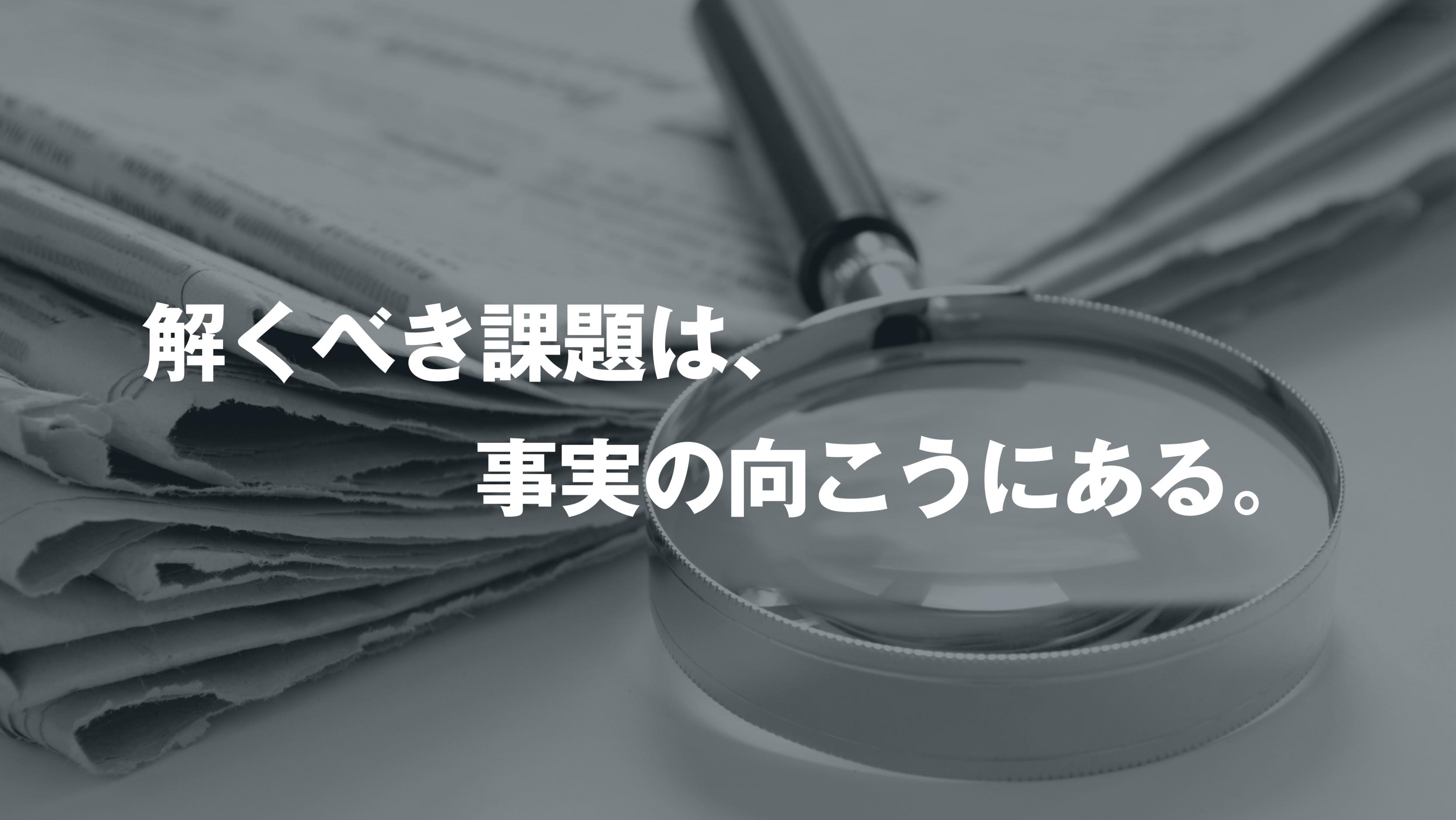
起業志民Project
Free ways of working!

解決策=IT起業家の育成

このように、数字を積み上げ、問いを立てて解き明かしていくことでしか本質的な課題に到達することはできない。このプロセスを省いて、一足飛びに結論を得ようとする、失敗する。

突くのは核心だけで良い。スタートは、完パケである必要はない。

完成形は、やりながら作っていく。そのためにも、正しい問いを立てるところだけは間違っていないか、細心の注意を払わなくてはならない。

A magnifying glass is positioned over a document with a torn edge. The text is overlaid on the image in a bold, white font.

**解くべき課題は、
事実の向こうにある。**

ファクトを 深掘りせずに、 課題は見えない。

基本中の基本だが、できてない組織は多い

人口減少は、ただの社会現象の一つ。なぜそうした行動が起きるのか、事実を積み上げることでしか、課題は見えてこない。

八幡平市の人口減少に寄与しているのは、望む仕事がないことだという推論ができた。なければ作れば良い。

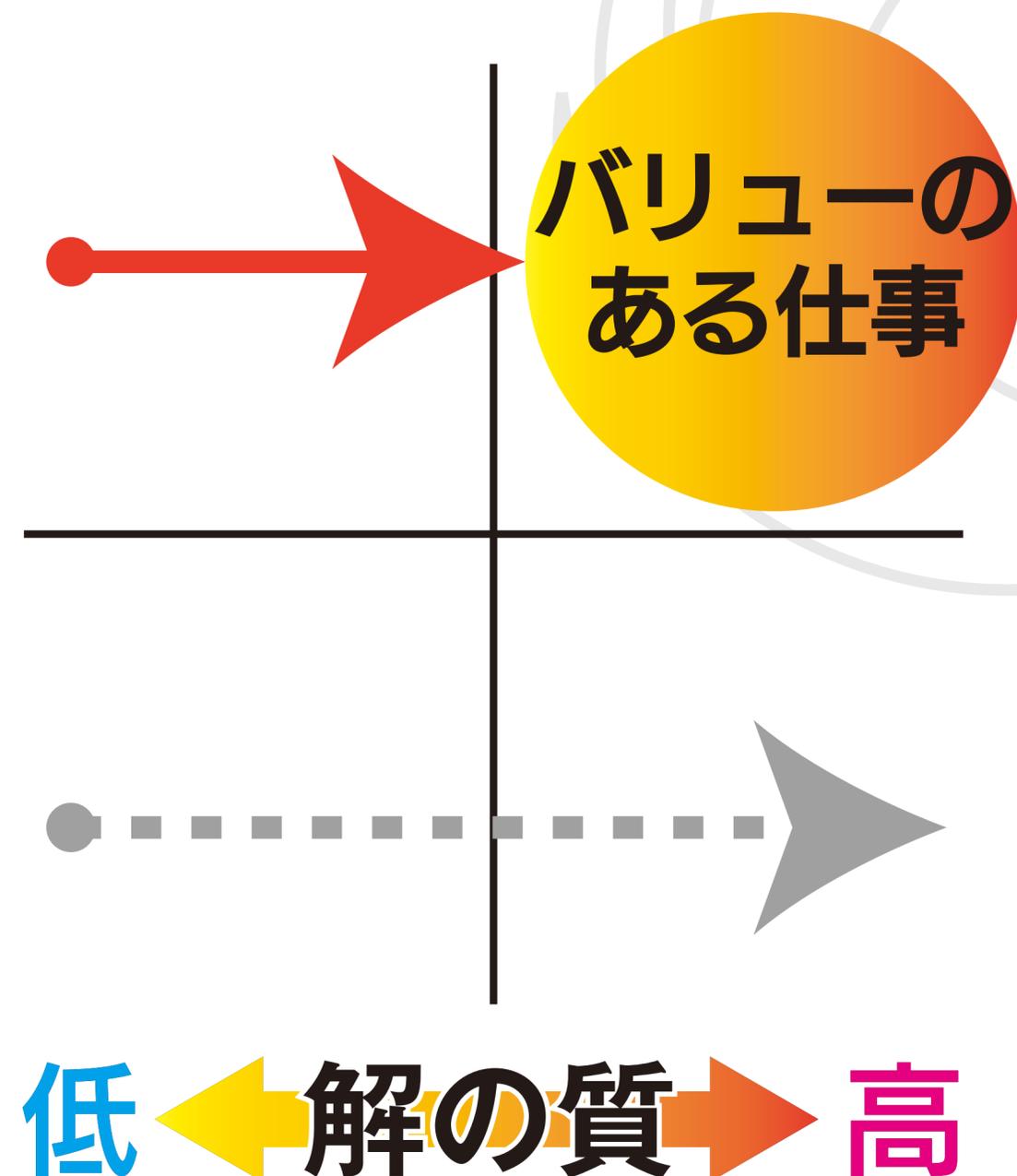
全ては問いを立てるところから始まる。解決策から考えても、有効な対策を打てない。

より本質性の高い課題を突く。

すべては課題から始まる。適切な 이슈を見つけ、解の質を高めることでしか、バリューのある仕事はできない。

スタート地点を間違ると、永遠に価値ある仕事はできない。クオリティの高い解き方を追求する前に、解くべき課題を間違っていないか。イシューを分解して、ストーリーを組み立て、仮説を立てて検証しながら、解の質を上げていく。これ以外に成果を上げる方法はない。

高
↑
本質性
↓
低



核心を突いた
問いが、
成果を生む。

SINCE 2015



課題の本質を見極め。

いわゆる仕事のデキる人は、
ただ猛烈に長時間ブラック労働を
甘受する人のことではない。
より成果に結びつく仕事
だけをしているのだ。



SpartaCamp!

Veni, vidi, vici.



スパルタキャンプに 世界中から 志ある者が集う

独力でオリジナルのウェブサービスやアプリを構築できるようになるとともに、ビジネスプランをも組み立てられるようになる。そんな圧倒的な成長カリキュラムを完全無料で提供する。



海外在住の邦人が移住

スパルタキャンプを契機に「八幡平の方が面白い」と移住する者が続出。



定員の数十倍が応募

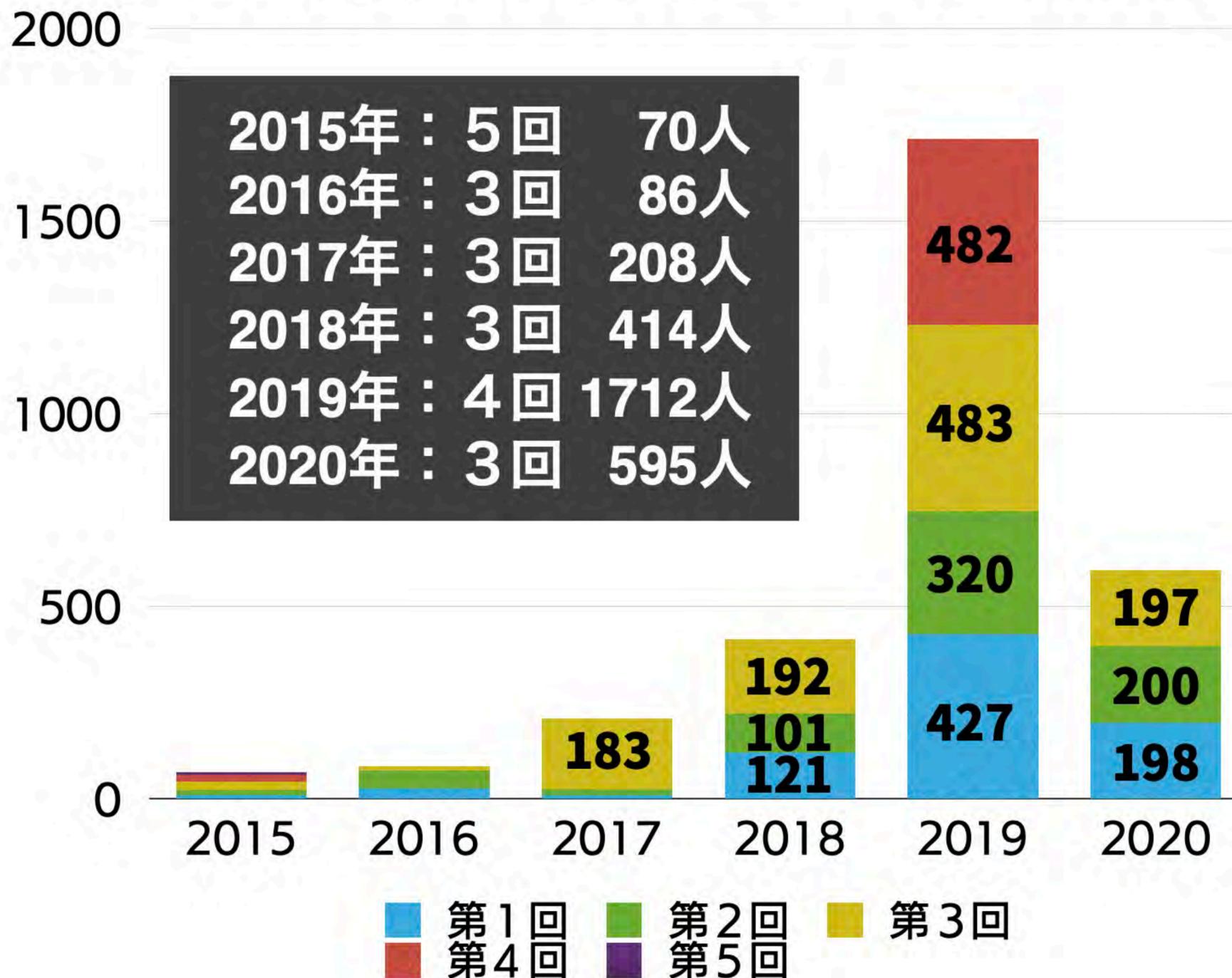
北はイングランド、南はニュージーランドと世界中から応募が殺到。

世界中に 支持が 広がっている。

開始当初は、定員割れでの開催が普通でしたが、徐々に支持が世界中に拡大。

スパルタキャンプの熱量は、あまりに大きなものになっている。エントリーするために仕事を辞めるといった話も珍しくない。国家一種からニートまで、さまざまな背景のタレントが集い、切磋琢磨する。

スパルタキャンプのエントリー数推移





起業家たちの集う拠点

八幡平市起業家支援センター
Startup Core

スパルタキャンプの修了生を中心に、起業家たちが意見交換や協業するための拠点となるプラットフォームを提供。地方に新たなイノベーションを創出する核となっている。



起業志民Project

Free ways of working!

世界から

志ある者たちが集う連鎖

① 無償で技術を教える

指導者として後進を育成

メンバーが続々と起業 ④



起業家コミュニティを形成

SpartaCamp!
Veni, vidi, vici.



育てた起業家が
次世代を育成する
エコシステム



事業計画策定から直接支援

② 5年無料のシェアオフィス



八幡平市起業家支援センター
Startup Core

最高の仲間たちと刺激し合う

資金調達を支援 ③



Go-Raiko



地方のDXを 都会の企業に頼らず 次世代の産業に育てる

Next to the camp

スパルタキャンプから起業を目指すメンバーに対しては、事業計画の書き方から資金調達に至るまで伴走型で支援を行う。

Become a teacher from a student

キャンプを修了して起業家として現場経験を積んだメンバーたちは、講師の側に回っている。元受講生であるとともに、起業家としてのロールモデルともなり、一つの好循環を生み出している。

誰もが誇りを持って働けるまち
住み継がれるまちの実現を目指して

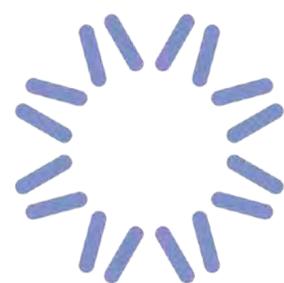
続々と
派生プロジェクトが
始まっている。



医療と福祉を 安価なデバイスのみで 遠隔に革命する

医師偏在指数が全国最下位の岩手県は、医師の確保に非常に苦戦している。無医地区となった地域に、医療機器承認と取得したスマートウォッチのApple Watchでバイタルを取得し、遠く離れた家族や医師が常時確認することが可能となるアプリ「Hachi」を開発。遠隔での診療と見守りを谷単一のアプリで実現している。

地方創生推進交付金Society5.0タイプに採択され、八幡平市という過疎のフィールドで実証が進んでいる。



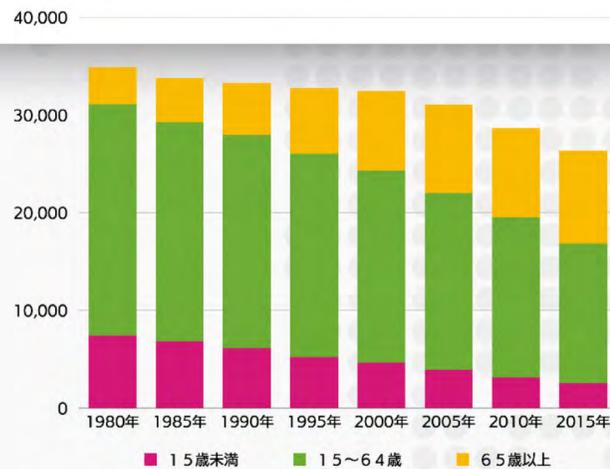
HACHIMANTAI
MEDTECH VALLEY



1

人口減少に直面

日本全体の人口が縮退する局面に入っている以上、特定の自治体だけ人口増は望めない。



2

未来技術の実装

人口減が続いても地域社会を持続可能にするためには、未来技術を社会に実装をすることが選択肢となる。



3

持続可能に変革

地元で開発した未来技術によって、人が減っても持続可能に地域社会を変革される。



4

成長産業の創出

未来技術を内外に横展開することで、収益性が高い次世代の産業を創出することが可能となる。



人口減をチャンスに変える



人が減っても 持続可能な社会に 必要な基盤を創出する

人口減の解消に、特效薬はない。短期で人口動態を左右することが難しい以上、これからの地方が取るべき道は、人手というリソースが無くとも持続可能なように社会基盤を変革していくことに他ならない。この最適解となり得るのは、ITによってインフラをDXしていくことである。

これは何も地方特有の問題ではない。いずれ遠くない将来、都市部においても人口減によって必要になるものである。

2020
Started in



ITで誰もが幸せに暮らせる 人口減社会を実現する

昨年度の実証実験に参加した高齢者全員が、いつでも医師や家族に見守られていることが安心感につながるとのコメントを多数いただき、100%が有償化しても使い続けたいとの意向を示している。この開発過程で生まれた技術が、投資家などから高く評価をいただいている。



データ極小化アルゴリズム

通常の数千分の一に小さくすることで、LPWAでも利用可能にする独自の手法を開発



高効率な疾病予測AI

データを小さくすることを活かして、軽量で小さなデータで学習させるAIの開発に着手

人を育て、場を提供 その先にある未来を見据える

育成した起業家が、次世代の起業家志望者を育てるエコシステムを形成し、世界中から起業家を目指して八幡平に移住する例が続出するようにはなった。まち・ひと・しごと総合戦略の目指すところは、ここが眼目となっているところであり、一つの完成形に見えるかもしれない。

八幡平市の目指す姿は、この先にある未来を創り出すことに他ならない。

2015
Started in



住んで楽しいまち



働いて楽しいまち



起業志民Project

Free ways of working!

ご清聴 ありがとうございます
ございました

